



## ご 挨拶

第 15 回東日本シニア選手権大会 会長  
公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長  
丹 羽 秀 樹

第 15 回東日本シニアボウリング選手権大会を公益財団法人ミズノスポーツ振興財団のご協力をいただき開催できますことを、心より御礼申し上げます。

ボウリングは「年齢を問わず取り組めるスポーツ」であり、80代や90代の方も競技会やリーグに熱心に参加し、腕を磨いておられます。この西日本シニア選手権大会には50歳以上のボウラーが参加されますが、大きな大会の経験が少ない方や、ベテランの方など、競技のキャリアも様々です。

すべての方に共通するのは、ご自身の個性に応じて目標を立て、今より1歩でも2歩でも前進を目指して鍛錬し、大会に臨まれていることです。本大会において皆様が、目標の達成をめざして全力を発揮されますよう祈念いたします。

そして、各地から集まった仲間との競技交流を存分に楽しんでください。本大会が、より一層ボウリングへの情熱を高める契機となり、また日々の生活の糧ともなりますことを願っております。

終わりに、この大会の開催にあたりご尽力賜りました各位、会場の総合レジャーサンコーボウル様、主管の北海道ボウリング連盟に厚く御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



## 歓迎挨拶

北海道ボウリング連盟 会長  
高橋 宜嗣

第15回東日本シニアボウリング選手権大会が北海道札幌市の総合レジャーサンコーボウル様にて開催できますことは誠に喜ばしく、東日本各地からお越しいただいた役員、監督、選手並びに関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

ご承知の通り札幌市は人口約197万人の日本最北の政令指定都市であり、北海道の政治、経済、文化の中心地であります。特に地下街が発達し、ショッピングエリアとなっている札幌駅周辺や東西に1.5kmも延びて、花と緑の憩いの広場となっている大通り公園及び多くの飲食店がある『すすきの』は札幌観光の見どころであり、大会競技の合間などで散策くださると幸いです。

さて、本大会参加の皆様には、大会の全日程を通して相互の友情と親睦を深めると共に郷土の誇りと選手自身の栄光のため競い、多くの人へ感動を与えることができるように、日ごろ鍛えた技と力を十分発揮されることを希望します。

ボウリングは万人周知の通り、老若男女を問わず楽しめる国民的なインドア・スポーツであります。本大会参加のシニアの皆さんはボウリングを「する人」ですが、「見る人」及び「支える人」にもご理解をいただき、より一層の普及振興にご協力くださるようお願い申し上げます。

結びに、この大会開催のため格別なご配慮とご指導を賜りました関係各位に厚く感謝とお礼を申し上げまして歓迎のあいさつといたします。

# 第15回東日本シニアボウリング選手権大会

## 大会役員名簿

大会会長	丹羽秀樹	(公財) JAPAN BOWLING	会長
大会副会長	西林康憲	(公財) JAPAN BOWLING	副会長
"	高橋宜嗣	北海道ボウリング連盟	会長
大会委員長	齋藤良太郎	(公財) JAPAN BOWLING	専務理事・事務局長
大会副委員長	松下秀雄	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事 総務委員長
大会総務委員長	柳川弘行	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事 競技委員長
大会競技委員長	小林 穰	(公財) JAPAN BOWLING 北海道ボウリング連盟	理事 理事長
大会副委員長	伊藤一明	(公財) JAPAN BOWLING	競技副委員長
大会審判委員長	川崎治夫	(公財) JAPAN BOWLING	総務副委員長
大会広報委員長	四宮和裕	(公財) JAPAN BOWLING	指導委員長
大会認証委員長	高橋尚代	(公財) JAPAN BOWLING	理事
大会資格審査委員	上田暢子	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	野口由美	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	根田光朗	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	森永耕造	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	川上秀樹	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	飯島祥行	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	山下知且	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	亀島愛永	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	村松加王里	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	笹川麻利恵	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	中塩博美	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	石嶺可奈子	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	吉田由美子	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	川口美永	(公財) JAPAN BOWLING	理事
"	由中信安	(公財) JAPAN BOWLING	理事
大会事務局	津江淑代	北海道ボウリング連盟	事務局

# 第15回東日本シニアボウリング選手権大会

## 【 開 催 要 項 】

- 主 催 公益財団法人 JAPAN BOWLING
- 後 援 公益財団法人北海道スポーツ協会
- 協 力 日本ボウリング機構 (JBO)、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団
- 主管運営 北海道ボウリング連盟
- 開催月日 2024年 9月14日 (土) から15日 (日)
- 会 場 総合レジャーサンコーボウル (公競No.101-086)  
〒063-0814 北海道札幌市西区琴似4条7丁目1-20 TEL: 011-641-5211
- 競技種目 シニア部門 男子・女子別個人戦  
グランドシニア部門 男子・女子別個人戦
- 年齢区分 シニア部門 2024年4月1日現在、満50歳から64歳までの者  
グランドシニア部門 2024年4月1日現在、満65歳以上の者
- 競技方式 デュアルレーン方式 (アメリカ方式) により実施する。
- 競技方法 各部門男・女とも予選9ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点により、シニア部門男子28名、女子10名、グランドシニア部門男子28名、女子10名が決勝に進出する。  
決勝ではさらに3ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、合計12ゲームの総得点により順位を決定する。  
※決勝進出人数は、参加人数により変更する場合がある。
- ハンディキャップ シニア部門は、1ゲームにつき、下記のハンディキャップを与える。
- | 満年齢 | 50～59歳 | 60～64歳 |
|-----|--------|--------|
| H/C | 0      | 5      |
- グランドシニア部門は、1ゲームにつき、下記のハンディキャップを与える。
- | 満年齢 | 65～69歳 | 70歳以上        |
|-----|--------|--------------|
| H/C | 0      | 5歳につき5点を加算する |
- 年齢基準は、2024年4月1日現在の満年齢とする。
- 競技規程 JB選手権競技会規程並びにJBボウリング競技規則を適用する。
- 同位の制定 予選・決勝において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。  
但し、決勝において1位と2位が同点の場合、9・10フレームの決定戦を決着がつくまで行い、順位を決定する。
- 参加資格 2024年度JB登録会員 (個人正会員・実業団会員) で、東日本地区に所属する満50歳以上 (2024年4月1日現在) の選手で、各加盟団体より選出された者に限る。

参加割当	事前の参加希望人数調査に基づき、別紙の通り割り当てる。
褒賞	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 優勝～第8位（各部門 男・女別）</li> <li>2) ハイゲーム賞、ハイシリーズ賞（各部門 男・女別） ※すべてスクラッチとし、予選のみを対象とする。</li> <li>3) 最高年齢者特別表彰（男・女各1名）</li> </ol>
施設使用料	1名 11,800円
申込方法	所定の申込用紙に必要事項を記入し、各団体で取りまとめ、費用を添えて申し込むこと。
申込締切	2024年8月13日（火）厳守
申込先	北海道ボウリング連盟 〒062-0905 北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内 TEL：011-824-6300 FAX：011-598-0003 メール：hokkaido.jbc@sky.plala.or.jp
送金先	別紙送金明細書参照のこと。 なお、送金締切日は、2024年8月16日（金）厳守のこと。
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。</li> <li>2) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。参加選手は、各自の責任で健康診断を受け、健康であることを証明された者が参加すること。また、「スポーツ安全保険」「スポーツ傷害保険」等に参加し、健康保険証を持参すること。</li> <li>3) 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。</li> <li>4) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には2個目から（特別会員は4個目から）1個につき500円の登録料を納めるものとし、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する（公認ゲーム600ゲーム以上達成者は、7個目まで特別保管料を免除し、8個目から1個につき1,000円を追加徴収する）。また、ボールの追加登録は原則として認めない。</li> <li>5) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。</li> <li>6) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円とし大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。</li> <li>7) 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。</li> <li>8) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書</li> </ol>

に必要事項を記入し、300 円の発行手数料を添えて申請すること。

- 9) 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報(氏名・年齢・性別・記録・肖像等)は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用权は主催者に属する。
- 10) 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報(肖像を含む)およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。

#### ドーピング検査について

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

%)

- % % ( fl t	% ( % ) % ) ) \$			
	%) ' \$ % ) ) \$			
	% * & \$ % * ' )			
	% * ) ) % , ' )			
	% + % ) % , & \$			
	% + ( \$ % , \$ \$			
	% , ) \$ & \$ ' \$			
- & %) fl t	' , ' \$ % \$ % \$			
	% \$ & ) % & \$ )			
	% & & \$ % ( \$ \$			
	% ( % ) % ) ) )			
	% * % \$ % + % \$			
	% + & ) % , & )			
	% - \$ ) & \$ \$ \$			

# 競技規則(抜粋)

## 第133条(同位ピンの裁定)

競技の勝位の決定について、個人又はチーム戦の得点が同点の場合、次のとおり裁定する。

- (1) シリーズにおいて同点の場合は、最高ゲームと最低ゲームの差の最も少ないものを上位とする。
- (2) 2シリーズ以上の競技において同点の場合、最高シリーズと最低シリーズの差の最も少ないものを上位とする。
- (3) 1ゲームのスコアが同点の場合及び第1号の得点差が同じ場合は、個人又はチーム戦で第10フレームまでを含めたストライク数の多いものを上位とする。
- (4) さらにストライク数が同じ場合は、スペア数の多いものを上位とする。
- (5) スペア数が同じ場合は、ともに勝者とするか、又はさらに1ゲームの決勝戦を行い、勝者を決定する。ただし、競技要項にほかの方法で規定している場合は、その規定による。

## 第134条(スローボウリングの禁止)

すべての競技は遅滞なく実施し、審判員は遅滞の原因が競技者にある次のような場合には、スローボウリングと判定する。

スローボウリングの判定は、同一シリーズ内においてのみ適用し、最初は「警告」、2回目は「嚴重注意」、3回目以降は、そのフレームの得点を0とする。

- (1) 競技者は、自分の投球順で左右の隣接するレーンが空いている場合、直ちに投球姿勢をとらなければならない。
- (2) 競技投球者は、投球の準備態勢に入ろうとしているすぐ右側レーンの競技者に対してのみ優先投球権を認めなければならない。
- (3) 競技者が1レーンに1名又は2名で競技する場合は、当該シフトで進行の早い競技者から、原則として4フレーム以上の遅れ、3名以上で競技する場合は、2フレーム以上の遅れがあった場合は、機械の故障等の有無を確認の後、判定する。
- (4) 競技者は、前の競技者のボールがボールラックに戻ったときから30秒以内にその競技者は投球しなければならない。その判定は、審判員が競技者を無作為に選考し、ストップウォッチにより、その競技者の投球時間を測定する。
- (5) 第4号の条文については、当分の間、指導事項とする。

## 第136条(ボウリングボールの表面調整及び表面加工)

ボウリングボールの表面調整及び表面加工については、国際ボウリング連盟の規定に基づき、次のとおりとする。ゲーム中にボールの表面を調整及び加工した場合は、そのゲームの得点は0とする。

- (1) ボウリングボールの調整に使用できるポリッシュ並びにクリーナーは、国際ボウリング連盟の公式認定の物とし、ボウリングボールの表面調整は、競技が遅滞しない範囲でゲームとゲーム間で許されるが、必ず手で実施し、ボウラーズエリア内では行うことはできない。
- (2) ボウリングボールの表面加工をすることは、第1号で規定されたものを除き、指定された場所において、公式練習中、競技直前の練習時間中及びシフトとシフトの間は許される。
- (3) ボールの表面を調整及び加工した場合は、その表面に付着物があってはならない。

## 第406条(遅刻)

競技者は、競技開始予定時間の30分前までに、あらかじめ定められた場所に集合し、受付を通過する。通過しない場合は、その種目は失格となる。

## 第407条(ボウラーズエリア)

選手権競技会において競技者、観客に識別できるようボウラーズエリアを定めるものとする。

- 2 各団体において、ボウラーズエリアに入ることのできるの監督又はコーチのいずれか1名とする。ただし、各選手権競技会において別の定めがある場合、この限りではない。
- 3 ボウラーズエリアに入ることのできる範囲は、自チームの競技しているボウラーズエリア内とする。

## 第410条(使用ボール)

選手権競技会に使用するボールは、次の各号に基づいて使用するものとする。

- (1) 選手権競技会に出場する者の使用ボールは、すべて国際ボウリング連盟公式認定ボール又はこの法人の公式認定ボールで認証検査に合格したものであること。また、常にこの法人規定の「ボール検査合格証」を携帯していなければならない。
- (2) 合格したボールでも、表面にテープ、ペンキ等で目印をしたり、明らかに故意にキズをつけた場合は、失格とする。
- (3) ボールの表面調整及び表面加工については、競技規程第136条を適用する。
- (4) 競技者は、大会に使用するすべてのボールを登録しなければならない。
- (5) 1991年1月1日以降に製造されたボールのみ使用が認められる。
- (6) 上記のほか、競技規程第135条を適用する。

## 第418条(競技者の服装)

選手権競技会に参加する競技者の服装は、競技規程第137条及びこの法人の服装規則を遵守すること。

## 第419条(競技中の飲食、喫煙)

競技中の飲食、喫煙は一切禁止する。ただし、アルコールを含まない飲料をボウラーズエリア以外の指定された場所で飲むことは許される。

また、競技者はボウラーズエリアをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず審判員に申し出て承認を得なければならない。

※ その他は、すべてこの法人の競技規則を適用する。

## 【注 意 事 項】

※ 競技会及び選手権大会の競技中2個以上のボールを使用する場合は、次のことを厳守して下さい。

- (イ) 競技中、特別の指示がある場合を除きボールラックには1人1個のボールしか置くことはできない。
- (ロ) 競技会および選手権大会では、競技開始前に主管認証部へ会場に持ち込んだ全てのボールを登録しなければならない。その際の登録料は、2個目から1個につき500円の登録料を納めなければならない。また、5個以上を登録する場合は、別途の料金が必要となる。
- (ハ) 競技中にボール交換のために、他の競技者に迷惑をかけたか、競技進行に支障を生じさせた場合は、スローボウリング(競技規程第134条)の適用を受ける場合がある。

※ 大会には、ボールの持込を1人4個以内に自粛するよう指導事項となっております。ご協力をお願いいたします。

※ 大会会場に4個以上持ち込んだ場合でも、競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。

ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。

競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。

※ ハイゲーム、ハイシリーズ賞とも同点の場合は、該当者全員を表彰します。(選手権競技会規程第414条)



# 第14回東日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2023年10月20日(金)～22日(日)

会 場：山形・山形ファミリーボウル

《男子シニアの部》 12G				《女子シニアの部》 12G			
優勝	梅田久徳	(三重)	*2,957	優勝	吉田由美子	(埼玉)	2,565
準優勝	渋谷祐也	(愛知)	2,725	準優勝	山本直美	(富山)	2,560
第3位	山中徹治	(東京)	2,689	第3位	鈴木英子	(福島)	2,430
第4位	後藤光司	(埼玉)	2,670	第4位	金子智恵子	(新潟)	2,401
第5位	松岡富綱	(愛知)	2,633	第5位	檜垣智美	(茨城)	2,383
第6位	藤原孝至	(岩手)	2,623	第6位	高橋尚代	(東京)	2,314
ハイゲーム	谷藤元	(岩手)	297	ハイゲーム	吉田由美子	(埼玉)	279
ハイシリーズ	梅田久徳	(三重)	742	ハイシリーズ	吉田由美子	(埼玉)	715
《男子グランドシニアの部》 12G				《女子グランドシニアの部》 12G			
優勝	東秀雄	(石川)	2,735	優勝	柳川穂波	(三重)	2,379
準優勝	小玉真	(神奈川)	2,673	準優勝	大丸谷智子	(石川)	2,360
第3位	竹本憲司	(東京)	2,655	第3位	久我百合子	(新潟)	2,346
第4位	西川薫	(神奈川)	2,629	第4位	三浦啓子	(石川)	2,339
第5位	柳川弘行	(三重)	2,600	第5位	鳥谷部エイ子	(青森)	2,294
第6位	成田公教	(青森)	2,594	第6位	菊田多津子	(青森)	2,278
ハイゲーム	山本耕平	(栃木)	289	ハイゲーム	久本安子	(石川)	248
ハイシリーズ	東秀雄	(石川)	785	ハイシリーズ	久我百合子	(新潟)	653

\*…大会新記録

# 栄光の記録

【第1回大会】 2010年11月12日～14日

参加：228名

会場：山形・山形ファミリーボウル

男子シニア		
個人総合	粕谷明弘(栃木)	3,372
2人チーム	神奈川 川島 作山	2,691
個人戦	粕谷明弘(栃木)	1,461
女子シニア		
個人総合	鳥谷部エイ子(青森)	2,998
2人チーム	三 重 浜口 吉川	2,225
個人戦	鳥谷部エイ子(青森)	1,378

男子グランドシニア		
個人総合	浅野敏栄(福島)	3,476
2人チーム	群 馬 中塚 松原	2,692
個人戦	浅野敏栄(福島)	1,408
女子グランドシニア		
個人総合	大丸谷智子(石川)	2,875
2人チーム	北海道 井川 寺口	2,213
個人戦	日坂美栄子(山形)	1,215

【第2回大会】 2011年11月11日～13日

参加：294名

会場：埼玉・新狭山グランドボウル

男子シニア		
個人総合	田倉 稔(東京)	3,443
2人チーム	宮 城 澤田 鈴木	2,635
個人戦	田倉 稔(東京)	1,394
女子シニア		
個人総合	今村佳代子(福井)	3,161
2人チーム	福 井 今村 辻	2,534
個人戦	今村佳代子(福井)	1,308

男子グランドシニア		
個人総合	西林康憲(千葉)	3,251
2人チーム	神奈川 土田 森谷	2,560
個人戦	土田孝一(神奈川)	1,320
女子グランドシニア		
個人総合	和田すま子(東京)	2,941
2人チーム	石 川 大丸谷 有田	2,321
個人戦	澤田 順子(宮城)	1,248

【第3回大会】 2012年11月9日～11日

参加：234名

会場：福井・スポーツプラザWAVE40

男子シニア		
個人総合	石川信行(愛知)	3,265
2人チーム	福 井 大石橋 漆崎	2,501
個人戦	石川信行(愛知)	1,361
女子シニア		
個人総合	高尾真理(石川)	2,901
2人チーム	神奈川 田中 吉川	2,260
個人戦	針谷洋子(東京)	1,237

男子グランドシニア		
個人総合	吉村 悟(東京)	3,408
2人チーム	富 山 松下 岩井	2,642
個人戦	小玉 眞(神奈川)	1,391
女子グランドシニア		
個人総合	大丸谷智子(石川)	2,923
2人チーム	石 川 大丸谷 有田	2,263
個人戦	片倉光子(長野)	1,165

【第4回大会】 2013年11月8日～10日

参加：162名

会場：北海道・厚別パークボウル

男子シニア		
個人総合	後藤光司(埼玉)	3,410
2人チーム	東 京 松原 猪野	2,688
個人戦	田村 満(岩手)	1,443
女子シニア		
個人総合	森井裕子(愛知)	3,139
2人チーム	東 京 藤沢 安藤	2,515
個人戦	森井裕子(愛知)	1,242

男子グランドシニア		
個人総合	稲田武史(北海道)	3,329
2人チーム	神奈川 三嶋 小玉	2,648
個人戦	阿部 清(埼玉)	1,304
女子グランドシニア		
個人総合	寺口エミ子(北海道)	2,968
2人チーム	福 井 松原 中	2,296
個人戦	古川桂子(千葉)	1,182

【第5回大会】 2014年11月14日～16日

参加：293名

会場：福島・ボウルアピア郡山

男子シニア		
個人総合	上山 正(栃木)	3,357
2人チーム	神奈川 川島 佐藤	2,615
個人戦	大網松夫(千葉)	1,373
女子シニア		
個人総合	鈴木英子(福島)	2,977
2人チーム	福 島 志賀 鈴木	2,300
個人戦	吉川真弓(神奈川)	1,245

男子グランドシニア		
個人総合	高橋賢二(神奈川)	3,141
2人チーム	神奈川 野口 高橋	2,477
個人戦	野町智明(東京)	1,280
女子グランドシニア		
個人総合	大丸谷智子(石川)	2,986
2人チーム	石 川 大丸谷 中村	2,215
個人戦	大丸谷智子(石川)	1,207

# 栄光の記録

【第6回大会】 2015年11月13日～15日

参加：231名

会場：三重・津グランドボウル

男子シニア		
個人総合	村上 武男 (神奈川)	3,370
2人チーム	神奈川 川島 村上	2,674
個人戦	村上 武男 (神奈川)	1,384
女子シニア		
個人総合	栗林 摩知子 (三重)	2,892
2人チーム	三 重 吉川 柳川	2,262
個人戦	栗林 摩知子 (三重)	1,172

男子グランドシニア		
個人総合	岩井 親孝 (富山)	3,173
2人チーム	三 重 仲摩 鈴木	2,544
個人戦	山口 五郎 (千葉)	1,309
女子グランドシニア		
個人総合	大丸谷 智子 (石川)	2,824
2人チーム	千 葉 菅原 木村	2,137
個人戦	大丸谷 智子 (石川)	1,190

【第7回大会】 2016年11月18日～20日

参加：266名

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子シニア		
個人総合	上山 正 (栃木)	3,474
2人チーム	神奈川 川島 作山	2,662
個人戦	上山 正 (栃木)	1,402
女子シニア		
個人総合	剣持 京子 (群馬)	3,034
2人チーム	石 川 岡 高野	2,484
個人戦	剣持 京子 (群馬)	1,253

男子グランドシニア		
個人総合	松井 卓治 (愛知)	3,178
2人チーム	神奈川 土田 村上	2,535
個人戦	野澤 俊之 (千葉)	1,324
女子グランドシニア		
個人総合	大丸谷 智子 (石川)	2,855
2人チーム	石 川 中村 大丸谷	2,266
個人戦	大丸谷 智子 (石川)	1,127

【第8回大会】 2017年10月20日～22日

参加：235名

会場：石川・ジャンボボール

男子シニア		
個人総合	川島 徹 (神奈川)	3,501
2人チーム	石 川 東 前田	2,656
個人戦	前田 知一 (石川)	1,391
女子シニア		
個人総合	剣持 京子 (群馬)	3,027
2人チーム	宮 城 西尾 鈴木	2,345
個人戦	柳川 穂波 (三重)	1,227

男子グランドシニア		
個人総合	高橋 賢二 (神奈川)	3,404
2人チーム	三 重 伊藤 栗林	2,635
個人戦	高橋 賢二 (神奈川)	1,449
女子グランドシニア		
個人総合	大丸谷 智子 (石川)	2,980
2人チーム	石 川 中村 大丸谷	2,433
個人戦	澤田 英子 (三重)	1,196

【第9回大会】 2018年10月20日～21日

参加：243名

会場：山形・山形ファミリーボウル

男子シニア		
個人戦	近江 雅久 (神奈川)	2,784
女子シニア		
個人戦	剣持 京子 (群馬)	2,521

男子グランドシニア		
個人戦	稲田 武史 (北海道)	2,858
女子グランドシニア		
個人戦	鳥谷部エイ子 (青森)	2,569

【第10回大会】 2019年10月18日～20日

参加：167名

会場：北海道・総合レジャーサンコーボウル

男子シニア		
個人戦	柳川 弘行 (三重)	2,680
女子シニア		
個人戦	柳川 穂波 (三重)	2,592

男子グランドシニア		
個人戦	黒畑 幸作 (北海道)	2,566
女子グランドシニア		
個人戦	久慈 順子 (岩手)	2,396

【第11回大会】 2020年10月16日～18日

参加：168名

会場：静岡・浜松毎日ボウル

男子シニア		
個人戦	梅田 久徳 (三重)	2,786
女子シニア		
個人戦	松野 琴美 (東京)	2,736

男子グランドシニア		
個人戦	野澤 俊之 (千葉)	2,787
女子グランドシニア		
個人戦	唐津美佐子 (埼玉)	2,375

# 栄光の記録

【第12回大会】 2021年10月15日～17日

参加：177名

会場：東京・東大和グランドボウル

男子シニア		
個人戦	山中 徹治 (東京)	2,838
女子シニア		
個人戦	吉田由美子 (埼玉)	2,594

男子グランドシニア		
個人戦	小玉 眞 (神奈川)	2,747
女子グランドシニア		
個人戦	柳川 穂波 (三重)	2,520

【第13回大会】 2022年10月21日～23日

参加：280名

会場：長野・ヤングファラオ

男子シニア		
個人戦	飯田 剛 (三重)	2,549
女子シニア		
個人戦	檜垣 智美 (茨城)	2,380

男子グランドシニア		
個人戦	東 秀雄 (石川)	2,567
女子グランドシニア		
個人戦	柳川 穂波 (三重)	2,339



# 全道 No.1 ワンフロア52レーン

圧倒的な開放感を誇る、ワンフロア52レーンは全道一の広さ。他にもビリヤード、卓球、カラオケ、麻雀などの施設も充実!

## 2F ボウリング



## 1F ビリヤード・卓球・カラオケ・麻雀・レストラン

